



武蔵野市議会議員

山本ひとみ

分かち合う経済・支え合う社会をつくる会ニュース 6号 2017年1月発行

【事務所】 〒180-0023 武蔵野市境南町 2-23-6-203
TEL 0422-30-5364 FAX 30-5374 携帯 090-1212-8411
Eメール yhitomi815@gmail.com
Blog http://yhitomi815.blog.fc2.com/
twitter @hitomi_yamamot

活動報告

支え合う社会を地域からつくりましょう!

2017年が始まりました。グローバリズムが世界で猛威をふるい、格差と貧困を拡大するなかで、アメリカでも、ヨーロッパでもこれまでの政治が次々に退けられています。

昨年の市内東町の保育園事業者撤退をめぐる経過は、地域社会のなかで、異なる立場の市民がどのように理解を深めることができるか、重い課題を残しました。地に足をつけた政策提言や市民と共に歩む活動を、初心に帰って進めていきたいと思えます。

民主主義をもっと深化させ、分かち合う経済・支え合う社会をつくる力として育んでいきましょう。

吉祥寺東町保育園事業者撤退を受け市は、保育施策の検証と質の向上を!

●武蔵野市は、年々子どもの数が増え、働く母親も増え、小学校入学前に保育園に子どもを預ける割合は小学校入学前の子どもの34.5%と上昇しています。

12月議会で、今年4月の保育園入所の申し込み状況を質問しました。右表のように、現状では認可保育園入所を希望する方のうち半数以上が困難な状況です。また、今回は中央エリアの申し込みが多いのが特徴です。

●2016年度は、子ども子育て支援新制度が実施され2年目です。残念ながら、全国的に見ても、保育園の増設は進んでいても質の伴わない例も多く、深刻な事故も起きており、保育園間の格差も広がっています。

●こうした中で、今年4月に開設予定だった吉祥寺東町・ましゅまる保育園の事業者が、昨年9月に撤退するという事態がありました。

吉祥寺エリアは地価が高いために、保育園の新たな設置が困難な地域であり、駅から近い立地の0歳から5歳までの保育園ができることは、保育園入所を望む世帯にとって大きな希望でした。

6月議会では、「吉祥寺エリアに認可保育園の早期開設を求める陳情」が4276名の署名を添えて提出され、全会一致で可決されました。

しかし、事業者の適格性・立地条件・周辺住民との合意形成などに問題があると周辺住民の方18名は建設不同意書を昨年9月20日市に提出し、この数日後に事業者は撤退を表明しました。

今後の大きな課題として、新たな事業者へのサポートがもっと必要だと思えます。9月・12月議会で、民間保育園開園に当たっては近隣説明会開催のルール化をすべきと提案し、12月議会一般質問で市長は「ルール化については検討したい」と答弁しました。

●武蔵野市の待機児童数は、昨年4月で122人。2018年春に待機児を解消することを市長は議会答弁でも明らかにしています。

昨年8月末から9月にかけて吉祥寺エリアの働く母親から

・今ある保育園には3歳以上のクラスがないため、来年4月以降子どもを預ける場所がない。

・(保育園は)車通りの少ない場所がいいが、吉祥寺のどの場所にそ

<今年4月入所の保育園申し込み状況>

年齢	空き定員	申し込み
0歳	183人	321人
1歳	190人	415人
2歳	48人	236人
3歳	32人	175人
4歳	43人	45人
5歳	57人	11人
合計	553人	1203人

<地域別申し込み状況>

町名	申し込み
東町	80人
南町	81人
御殿山	28人
本町	89人
北町	171人
中町	127人
西久保	121人
緑町	54人
八幡町	47人
関前	73人
境	111人
境南町	107人
桜堤	114人



ましゅまる保育園が建設される予定だった場所(吉祥寺東町1)ー昨年9月28日撮影

れができますか? それはいつになりますか? いつかどこかに理想の場所をつくっても意味がない。来年4月に子どもの預け先がないからといって退職になることは避けたい。

などの声を多数伺いました。

●10月11日に、会派として<①吉祥寺エリアの早急な認可保育園増設②ニーズ調査の実施、来春の入所希望の子どもたちに保育の場の確保>等を、市長に申し入れしました。その後、11月4日には、吉祥寺南町3丁目の市有地に2018年4月開設予定の認可保育園を整備する方向が市から発表され、近隣住民との話し合いが続いています。

また、緊急対策として、12月議会で、吉祥寺エリアに2つのグループ保育施設(それぞれ30~40名規模)を整備するための補正予算が可決されました。

ましゅまる保育園撤退の影響は決して小さくはありません。この経験を踏まえ、過密都市である武蔵野市で、どのように質の良い保育園を増やしていけるのか、支え合う社会を地域からつくっていけるか、真剣に取り組んでいきたいと思えます。

原発事故避難者に安定した住まいを!

~2017年3月末で自主避難者への住宅支援が打ち切られようとしています~

●福島第一原発事故から今年3月でちょうど6年です。福島県外に避難している方は昨年10月13日現在で40,405人です。しかし福島県は、この3月末をもって、避難区域以外からの自主避難者への住宅無償提供を打ち切る方針を明らかにしています。

●私は、避難者団体のサポートを続けていますが、「避難者への帰還の強制をやめ、希望者全員が現在の避難先に住み続けることができる支援を」と訴え、昨年は、復興庁・内閣府など政府関係省庁・都営住宅を所管する東京都・福島県との交渉に参加してきました。

●東京都で言えば、昨年6月に都営住宅公募における避難者の優先枠200戸の設定が発表(その後300戸に拡充)されるなど、一定の前進が見られました。

一方で、700戸余りの自主避難世帯で、都営入居が決まったのは192世帯です。都営住宅以外の公的住宅や民間にお住まいの方については、福島県が2年間の家賃補助を実施するとしていますが、東京など高家賃の地域では、実情にあっていません。

●避難者は、事故によってやむなく故郷を離れました。避難先でお子さん学校に入学し、新たな仕事やコミュニティを得ている方も多いのです。自主避難者には住宅支援以外に日常的な援助はありません。福島へ帰還することを選べない方に安心できる住まいが確保されるよう、政府・関係自治体に支援策を求めていきます。



昨年6月7日東京都の担当課との話し合いに参加しました。

介護保険制度の2018年度改定へ 武蔵野市独自の対応の強化を!

●介護保険の新しい制度が—
昨年から実施されていますが、
厚生労働省は、2018年の
介護保険制度の改定を見据え
議論を進めています。



建設中の保育園併設特別養護老人
ホーム（関前1丁目）

11月25日に社会保障審
議会は、介護保険制度見直し
の意見書素案を示しました。

**現役並み所得の高齢者（単身世帯では年収383万円以上、
夫婦世帯では年収520万円以上）を対象に利用料の負担を
現在の2割から3割に増やすことなどが盛り込まれています。**

反対の声の強かった

- ・要介護度の低い利用者（要介護1・2）の掃除買い物などの
生活援助サービスを保険対象外とすること
- ・福祉用具レンタルの自己負担引き上げ
などは見送られました。

●この素案に対する市の評価を12月議会の一般質問で伺
いました。

利用料の3割負担を一定年収以上の方へ利用料3割とする
ことは「介護は長期的な負担がともなうので、医療と同列には
扱えない。昨年から2割負担が導入されているので、負担の
変更など混乱が生じていることに拍車をかけることになりかねない。」との見解を、生活援助については「自立支援に欠かせない
ものであり、介護保険創設の理念からしても、給付からはず
すべきではない。」との見解を市長は示し、いずれも制度変更
は慎重であるべきと明確な答弁がありました。

●また、市独自の取り組みの強化を訴えました。

①保険料の所得階層の多段階化（累進性の強化が図られて
いることを評価）

②利用料の5%助成継続

③現状の対面を重視した介護認定審査の継続

武蔵野市は、政府の安易な負担増・給付減の動きに対して、
しっかりとした理念と具体的な対応を進めており、評価して
います。

市内初の障害者入所施設が吉祥寺北町5に建設 ～障害者入所施設・青年期の居場所づくりについて質問～

●市内における障害者入所施設建設について、昨年9月議会
の一般質問で、場所・経営主体・規模・医療との連携・施設
内容に関する検討状況をうかがいました。

市長からは「規模は40名、入所機能だけでなく、日中活
動サービス・生活介護を整備する予定で通所での利用者も想
定している。ショートステイも併設する」との答弁があり、そ
の後、9月13日の厚生委員会で、以下の行政報告がありま
した。

- ・場所は吉祥寺北町5丁目（現況自転車保管場所）
- ・面積は1844㎡
- ・定員は50名（入所40名・通所10名）、ショートステイ
4名
- ・運営主体は社会福祉法人武蔵野
- ・2018年秋竣工、2019年2月ごろ開所予定

●また、一般質問では、関連して

・入所施設の内部または近接
地に障害者向けの医療施設設
置の検討

・入所施設を拠点としたサテ
ライト型グループホームの設
置

・高校卒業後の青年期におけ
る障害者を対象とした作業所
後の夕方の居場所づくり

を要望しました。

●昨年7月、相模原市の重度知的障害者施設に元職員が侵
入して多数の障害者を殺傷した事件がおきました。すべての
命は平等で価値があると思える社会こそ、豊かで発展の可能
性がある社会だと思えます。

多くの当事者・家族の長年の願いを受けて開設されるこの
施設が、利用者・職員の人権を尊重し、地域に開かれた施設
として親しまれるよう期待しています。



入所施設を運営する社会福祉法人
武蔵野（吉祥寺北町4丁目）

意見書採択

武蔵野市議会は、下記の意見書を採択し、関係機関に送って
います。

●12月13日沖縄では、新型輸送機オスプレイが墜落し大破
する事故がありました。沖縄県東村高江では、オスプレイも発
着するヘリパッドの建設工事が、住民の抵抗を押し切って進め
られています。

9月議会では、「東村高江のヘリパッド建設について、地元
自治体・住民の意見を尊重し、生活の安全と自然環境の保全
を図るよう求める」意見書が賛成15名・反対10人名で採
択されました。私も賛成討論を行いました。反対したのは、自
由民主市民クラブ（7名）・むさしの志民会議（2名）・会派
に属さない議員（1名・深田議員）でした。

●12月国会でTPP(環太平洋連携協定)が承認されました。
今後、TPP協定や2国間の協定が締結されれば、あらゆる参
入障壁撤廃が想定され、地域雇用の活性化に向けた地元企業
優先や地産地消等の取り組みに影響を及ぼす恐れがあります。

12月議会では「地域経済の振興と地方自治の尊重を阻む
懸念のある国際協定の締結等に対し、慎重であることを求める
意見書」を賛成15名・反対10名で採択しました。反対した
のは、自由民主市民クラブ（7名）・公明党（3名）でした。

ボランティアとカンパを募っています!

- ◆岡山県倉敷市生まれ。◆京都大学文学部卒業。◆
1995年より武蔵野市議会議員3期。◆2007年
選挙で惜敗。政治活動が続けるとともに、知的障がい
者の外出介助のガイドヘルパーとしても働く。◆
2011・2015年市議会選挙で当選。◆2016年
度は、文教委員会・議会運営委員会所属。東京たま
広域資源循環組合議員・奨学金審議会委員を務める。
◆原発事故避難者のサポートを行う「避難の協同セ
ンター」正会員。



市政相談いつでもお気軽に